

美術館ミニブック



種をまく 世界がひろく

山梨県立美術館

Yamanashi Prefectural Museum of Art

美術館ってどんなところ？

山梨県立美術館は、1978年秋に開館し「ミレーの美術館」として親しまれてきました。誰でも気軽に鑑賞したり、イベントに参加したりできるよう「開かれた美術館」をめざして美術館活動を進めています。



《ミレーの肖像》ナダールが撮影した40代なかばくらいのみレー



《種をまく人》1850年 油彩・麻布 99.7×80.0cm

ミレーってこんな人！

ミレーは、1814年10月4日、フランス北西部グリュシーという小さな村の農家に長男として生まれました。後にパリの美術学校で勉強し画家の仕事をはじめました。1849年パリで病気が流行し、治安も悪くなったことからバルビゾン村へ引っ越し、農民の絵を描くようになります。ここで最初に手がけた大作が《種をまく人》でした。ミレーは、フォンテーヌブローの森のそばにある小さなこの村に住み、1875年1月20日に亡くなるまで多くの作品を描きました。

お家で

おしゃべりしながら絵を見ると・・・！



《角笛を吹く牛飼い》制作年不詳 油彩・板 38.1×27.9cm

- おしゃべりしていたら、一つの絵の中から知りたいことがたくさんできたよ。角笛のことや茶色や白色の牛がいるから、牛の種類のこととか…。
- わからないことを調べてみるのもいいですね。自由研究にもつながります。おしゃべりしながら絵を見ると想像が広がり、「…のように見える」「…かもしれない」と一緒に考えながら絵を見ると楽しいですね。
- ちがう絵も見たくなったよ。
- 山梨県立美術館ホームページでミレーの絵が鑑賞できます。お家で、家族と一緒におしゃべりしながらミレーの絵を見てくださいね！

<https://www.art-museum.pref.yamanashi.jp/>

今年の夏は美術館ホームページにも遊びにいこう！



おうちで
山梨県立美術館



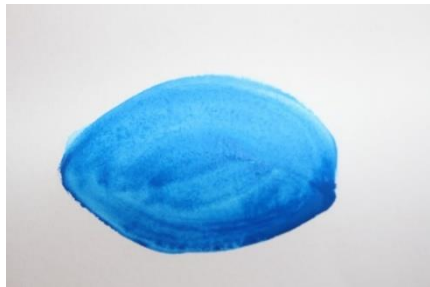
- この絵はミレーの描いた《角笛を吹く牛飼い》です。お家で、おしゃべりしながらこの絵を見てみましょう。何が見えますか？
- よく見ると、牛の他にも生き物があるね。
- 奥に小さな黒い生き物が見えますね。猫のようにもみえますが、犬です。
- 角笛はどんな音がするのかな？
- 牛飼いが岩の上で吹いている様子から、遠くまでびびく音かもしれませんね。



絵の具でおえかき

すいさいが だいへんしん しお
水彩画が大変身！お塩をパラパラかけてみた！？

絵の具で描く水彩画。そこにお塩？びっくりするかもしれませんが、いつもの水彩画に、身近にあるお塩をひとつまみ。絵の具をぬったところにパラパラとふりかけるだけで、水彩画が大変身！独特のもようが楽しめます。やってみてね！



まず、
 画用紙に絵の具をぬります。
 ※水は多めがよいです。



次にお塩をひとつまみ。
 パラパラとかけてみて・・・
 ※お塩も、いろんな種類があるので、いろいろと試してみるのもいいですね。



絵の具がかわいたら
 お塩を サッサッ と
 とりのぞいてみると・・・
 ※ここではぬらしていない絵筆でお塩をとりのぞきました。お塩は紙などに包んで捨ててね。

あら不思議。お塩のあったところに



もようが出てきたよ！



なんだかもっとやりたくなってきた！

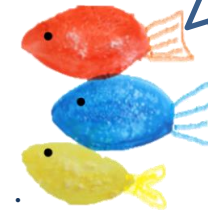
いろいろな色で

試してみよう・・・

なんだか

お魚に

見えてきた・・・



お塩をとりのぞいたら・・・
 どんなもようができてい
 るかな???

工作のヒントがのっているよ！

今年の夏は山梨県立美術館ホームページにも遊びに来てね！

<https://www.art-museum.pref.yamanashi.jp/>

